

★関東アコ20周年記念企画コーナー★

“Music”合同演奏練習も中盤に入る・・・本番まであと3ヶ月！！

関東アコ20周年記念演奏会(仮称)
2009年11月29日(日)14:00開始

会場
府中グリーンプラザげやきホール

8月16日(日)「千住介護福祉専門学校」(足立区)に柴崎和圭先生ほか32名が集まり、3回目の練習を実施しました。

3回目の今回は、13:00～1時間(パート練習)、14:00～1時間{グループ練習(アコⅠ、Ⅱ、Ⅲパート)・(エレクトーンⅠ、Ⅱパート)・(アコⅣ、ピアノ、ベースパート)}、30分休憩後15:30～1時間(全体練習)の時間配分で練習しました。



写真は開始前の様子

□自分のパートとつながりのあるパートを知る。

前は、頭から練習番号①の終わりまでを使って、きらきら輝く主役も大事だけれどその背景となる風景が汚れていたのでは台無しなので、風景も大事な主役であることを各パートの関係を聴き合うことで説明されました。

●今回は、後半の練習を重点にということで練習番号⑫からまず全員で弾いてみました。

「オーケイツ！」(これ先生の口癖?)、ボリュームはいいんだけど、全員が主役なんですけど順に譲っているんですね。ずうっと主役でもいいんだけど相手が出てきて私が降りて行ってと一緒に動いています。まず、「アコーディオンⅠ」と、「アコーディオンⅡ」だけで弾いてみますからお互いに弾きあっている関係を感じ取って下さい。相手の音を聴いたら“さあどうぞ”って弾かせてあげる。そして自分が歌う番になったら“どう歌うか”考えてみてください。

●次に「アコーディオンⅢ」と「エレクトーン

Ⅱ」ここは頑張りすぎずに“やわらかく表情豊かに”。柔らかい音の出し方に鍵盤を押しておいてじゃばらを動かす方法がありますが、ここでは“ふにゃ”とした音になるので鍵盤はじゃばらと同時に押すように。「アコーディオンⅠ、Ⅱ、Ⅲ」と「エレクトーンⅡ」この二グループがお互いに弾きあっているんですね。相手の音をよく聴いていると分かってくる。(練習はこんなふうに進みお互いの関係をつかんでいきました)

□オーケストラで全ての楽器が同じように大きな音を出したら・・・

●すぐうるさい。そこでヴァイオリンのような弦楽器、ホルンのような金管楽器、フルートのような木管楽器、それぞれの楽器がどういう音をつくるかって考えられています。

●練習番号⑬へ入ります「ピアノⅢパート」と「エレクトーンⅡパート」は、“ハミングしている感じ”で弾いてみてください。そこへ「ベースとピアノⅣパート」が加わります。「オーケイツ！」では⑬から全員で行きます。こんな感じで数回繰り返しました。

●練習番号⑭へと進み、ここから「エレクトーンⅡパート」は音符全てにアクセント記号(>)が付いています。ここは“ノンレガート”で弾いてください。では、頭から全員で通してみます。

数回繰り返したら、丁度予定の時間になりました。